

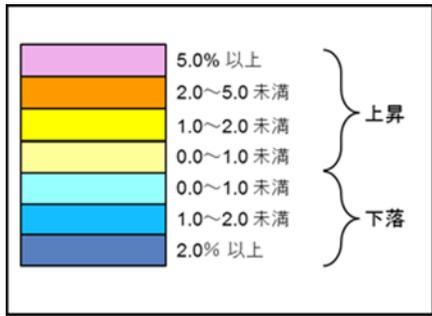
## 5. 名古屋圏の住宅地

※（ ）は前年変動率

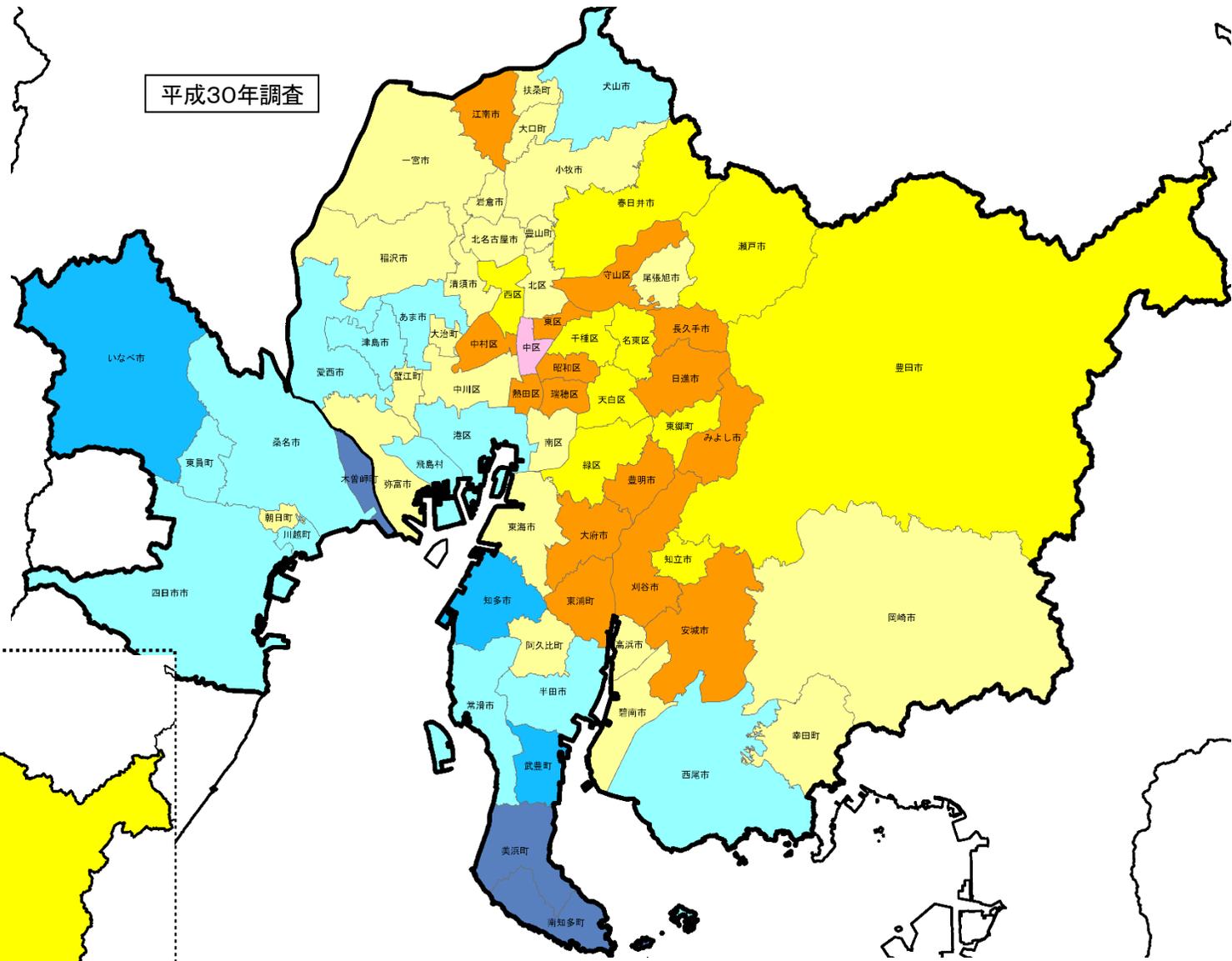
愛 知 県	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 名古屋市では、<b>1.6%</b>上昇(1.4%上昇)。港区を除く全ての区で上昇が続いており、上昇幅が昨年より拡大した区も見られる。</li><li>○ 尾張東部地域及び西三河地域では、上昇が続いている市町が多く見られ、上昇幅が昨年より拡大した市町も見られる。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 長久手市では、商業施設の集積による利便性の向上や人口増加等を背景に、上昇幅が昨年より拡大した。</li></ul></li><li>○ 尾張西部地域及び知多地域では、下落が続いている市町村が見られる。</li></ul>
三 重 県	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 四日市市では、<b>▲0.3%</b>(<b>▲0.5%</b>)。</li><li>○ 朝日町を除く圏域内の全ての市町では、下落が続いている。</li></ul>

# 市区町村別の状況（名古屋圏・住宅地）

平成30年調査



※変動率0.0%の場合、小数点第2位以下の数値を考慮し、色分けをしている。



平成29年調査

